

指定管理者評価シート

事業名	札幌コンベンションセンター	所管課(電話番号)	経済観光局観光・MICE推進部観光・MICE推進課(011-211-2376)
-----	---------------	-----------	---

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌コンベンションセンター	所在地	札幌市白石区東札幌6条1丁目1番1号
開設時期	平成15年6月1日	延床面積	20,310㎡
目的	内外の優れたコンベンションの開催の場を提供することにより、人々の来訪や交流を促し、もって地域経済の活性化及び市民文化の向上をはかる。		
事業概要	大ホール、特別会議場その他の施設を使用に供すること。その他センターの設置目的を達するために必要な事業。		
主要施設	大ホール、中ホール、小ホール、特別会議場、会議室(15室)、レストラン		
2 指定管理者			
名称	SORA-SCC共同事業体(代表団体:株コンベンションリンケージ、構成団体:株東洋実業)		
指定期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日		
募集方法	公募 非公募の場合、その理由:		
指定単位	施設数:1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設維持管理業務、貸館業務(利用料金制度)、コンベンション誘致業務、施設使用承認業務、事業の計画及び実施業務		
3 評価単位	施設数:1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 平成29年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価			
1 業務の要求水準達成度						
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>札幌コンベンションセンター条例における設置目的を理解し、管理運営を行うとともに、以下3つの方針を策定した。</p> <p>①稼働率および国際会議誘致件数の増加に努める ②市民文化・地域連携の強化 ③省エネ施設の確立を目指す</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>法令を遵守し、公正・公平な運営を行う等方針を策定し、徹底をした。またホームページ上では、主催団体より公開許可を得られた催事情報を可能な限り積極的に公開した。</p> <p>ホームページについてはウェブアクセシビリティに基づき一新し、「JIS X 8341-3:2016」において、AA準拠を達成した。</p>	<p>今年度も積極的に誘致活動を行い、国際・国内会議の誘致成功につなげ、また札幌国際プラザ・札幌コンベンションビューローと連携し大型の国際会議誘致に成功した。</p> <p>札幌市他部局や札幌市芸術文化財団とも自主事業を連携して行い、コンベンションセンター設置目的に寄与できた。</p> <p>またホームページのリニューアルに取り組み、利用客の利便性を高めた。</p>	A	B	C	D
引き続き、高い稼働率を維持しており、国際会議や学会の誘致を積極的に行っている等、要求水準は達成されていると認められる。また各種省エネ対策にも精力的に取り組み、成果を上げている。さらに、人材育成に関しては、札幌市が実施した研修などに積極的に参加している。						

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

▼年間ガス使用量は前年比4.3%の削減となった。
夏季は各種省エネ対策により冷房負荷の低減と設備機器の稼働時間の調整、また冬季間は暖房負荷の低減とロードヒーティングの運転時間の調整により削減に努めた。

▼年間電気使用量は前年比12.9%の削減となった。
各種省エネ対策をはじめ、大ホール照明を調光機能付きのLED照明に変更した効果が大きく、こまめな照度調整により電気使用量の削減に努めた。
これらの対策により札幌市が掲げる夏季及び冬季の率先節電対策の目標削減率を達成した。

▼ごみ排出量の削減と社会貢献のため、館内にペットボトルキャップ回収ボックスを設置した。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

▼統括管理責任者を定め、その下で組織整備し、従事者を配置した。

▼業務分担、指揮命令系統、連絡系統等を定めた。

▼人材育成においては、年間を通して研修を実施した。

▼研修計画に基づき社員研修を以下の通り実施した。

4月 設備業務研修

5月 設備業務研修、警備員研修(法定)

6月 設備業務研修、会議運営研修

7月 清掃業務研修(法定)、設備業務研修

8月 設備業務研修

9月 設備業務研修、省エネルギー実践セミナー

10月 設備業務研修、省エネルギー技術講座・実地講座

11月 警備員研修(法定)、清掃業務研修(法定)、設備業務研修、自衛消防隊訓練、防犯研修、防災研修、省エネルギー技術講座・実地講座

12月 設備業務研修、省エネルギー技術講座・実地講座、消防設備取扱研修

1月 設備業務研修、ホームページウェブアクセシビリティ研修

2月 設備業務研修

3月 設備業務研修、自衛消防訓練

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

共同事業体の定例会議のほか、実務者全体会議、グループ会議等を最低月1回定期的に行うとともに、イントラネット、クラウドストレージ等を利用して情報共有および改善事項・依頼事項等の意見交換を行い、業務の向上に努めた。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

レストラン運営事業、舞台技術業務、各種設備保守点検を第三者委託とし、業務が適正に履行されるよう管理監督を行った。委託先とは都度協議を行い、サービスクオリティを向上するための協力を得て、業務履行していることを確認した。

省エネ対策に引き続き積極的に取り組み、電気、ガス共昨年度の使用量を下回ることが出来た。
これにより、札幌市が掲げる夏季及び冬季の率先節電対策の目標値を達成した。

通常研修に加え、札幌市が実施した、省エネルギー技術講座・実地講座、ホームページウェブアクセシビリティ研修等にも積極的に参加した。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 6月26日	・ 誘致/営業・主な予約催事・自主事業報告 ・ 中央監視装置更新工事の進捗について ・ センター美化活動/膨張タンクの更新について
第2回 12月13日	・ 誘致/営業・主な予約催事・自主事業報告 ・ アウトリーチ活動報告 ・ 膨張タンク更新工事完了報告
第3回 3月22日	・ 誘致/営業・主な予約催事・自主事業実施報告 ・ ホームページのウェブアクセシビリティ確保について ・ 利益還元使途について
<協議会メンバー> 札幌市、(株)コンベンションリンクージ、(株)東洋実業	

* 本年度については札幌市と協議の上、年3回の開催となった。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

▼ 資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとに区分経理を実施するとともに共同事業体の代表団体による会計監査を実施している。また、現金の取扱については、取扱規定に基づき適正に管理を行った。

▽ 要望・苦情対応

▼ 要望・苦情対応についてはマニュアルを作成し、職員に周知している。
▼ ホームページ上に「お客様の声」ボタンを設置し、意見を寄せられた方へは迅速に対応し、適切な処理を行った。
▼ 前年、前々年と続いた受動喫煙についての苦情は改善策実施後は発生していない。

要望・苦情などといったご意見については、都度適切に対応した。受動喫煙についての苦情はその後発生していない。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

▼ 施設内にアンケートボックスを設置するとともに、自主事業開催時での配布、催事終了時での主催者への依頼等を積極的に行い、客観的な指針の一つとしてサービス向上に努めた。

▼ セルフモニタリングにより業務改善を行った。

(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上

▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上

▼ 関係法令を遵守し、必要な届出は監督官庁に行なった。
▼ 職員に対する給与、賃金等の支払を適切に行なった。
▼ 労働基準監督署からの行政指導を受けなかった。
▼ サービスの向上のため、各部門別および全体で定期的にミーティングを行った。
▼ ワーク・ライフ・バランスの取組(振替休暇制度やさっぽろ市民子育て支援宣言等)を適切に実施した。

ワークライフバランスの取組として、育児休暇制度の利用を推進するなど職場環境の整備に努めた。職員のモチベーションを高め、個々のサービス力をアップした。

A B C D
要求水準が達成されている。

<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 樹木・外壁等の事故を未然に防ぐため、定期的な外周点検を行い、利用者の安全に努めた。 ▼ 不審者対応マニュアル、防災計画、震災時等の非常時マニュアルを整備した。 ▼ 市民・利用者サービス向上のため、臨時休館日は減らし、通常の電話受付時間も延長して対応した。 ▼ 緊急連絡網を整備し、職員並びに札幌市はじめ関係機関に周知をはかった。 ▼ 損害賠償保険は仕様に適合したものに加入した。 <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 施設・設備等の維持管理については仕様書の通り、業務を遂行した。 ▼ ファシリティマネジメントの観点から予防保全実施項目を札幌市と協議し、施設の経年劣化を最小化し、施設の長寿命化を図った。本年度は、冷暖房回路膨張タンク交換、排風機修理、空調自動制御機器不具合部修理、共用部照明のLED化を実施した。更に、札幌市保全推進事業として28年度から継続して行ってきた中央監視装置の更新も完了した。 <p>▽ 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 消防法の規定に基づき、消防用設備等の点検を実施した。 ▼ 消防用設備の不具合箇所については速やかに改善工事を実施した。 ▼ 防災訓練および職員への研修を年2回実施し職員の意識向上につなげた。 ▼ さらに、札幌市の基幹避難所として備蓄物資の保管など有事の際の体制作りにも努めた。 ▼ 災害時の情報提供型自販機を引き続き設置した。 ▼ 緊急時対応マニュアルにJアラートへの対応を追加した。 	<p>利用者及び近隣住民の方々の安全と安心のため、北海道警察及び白石消防署の協力により、各種訓練、研修を行い、スタッフの防災・防犯意識の向上を図っている。また危機対応時のマニュアルについても適宜更新しており、今年度は新たにJアラートへの対応を盛り込んだ。維持管理においては、築15年を超えて経年劣化が進む中、各種設備の運転状況や保守点検の結果に基づき適切な処置を講じた。館内外の美化についても定められた仕様を上回る清掃を積極的に実施するとともに、例年通り夏から秋にかけて玄関付近に花壇を設置して、来館者へのおもてなしの気持ちを表した。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>センター利用者等に対する安全面で問題となる事案は発生しておらず、要求水準は達成されている。また、施設の美化に関しては、継続して良好な状態を保っていることが高く評価できる。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>センター利用者等に対する安全面で問題となる事案は発生しておらず、要求水準は達成されている。また、施設の美化に関しては、継続して良好な状態を保っていることが高く評価できる。</p>			
A	B	C	D								
<p>センター利用者等に対する安全面で問題となる事案は発生しておらず、要求水準は達成されている。また、施設の美化に関しては、継続して良好な状態を保っていることが高く評価できる。</p>											
<p>(4)事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ コンベンション誘致・営業に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 国際会議営業については、主に国内都市間競争のための提案書を作成して積極的な誘致活動を行い、現在も引き続きアプローチ中である。 ▼ 国際会議の国内開催地立候補のためのアプローチ、ビッドペーパー作成を積極的に行った。 ▼ 誘致営業活動は、札幌市、札幌コンベンションビューロー、札幌市東京事務所等各関係機関と協力をし、政府・国連、大学や研究機関、企業等、幅広い分野においてアプローチを行った。 	<p>誘致営業活動は、昨年度から誘致活動を継続して行っていた国際会議の誘致に成功した。さらに誘致中国際会議については引き続き、ビッドペーパーやプレゼンテーションのサポートなど積極的に行っていく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>ビッドペーパーやプレゼンテーションのサポート等積極的な誘致活動を展開し、成功に繋げる等、要求水準を満たしていると認められる。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>ビッドペーパーやプレゼンテーションのサポート等積極的な誘致活動を展開し、成功に繋げる等、要求水準を満たしていると認められる。</p>			
A	B	C	D								
<p>ビッドペーパーやプレゼンテーションのサポート等積極的な誘致活動を展開し、成功に繋げる等、要求水準を満たしていると認められる。</p>											

	<p>▼ 代表団体東京本社内にある東京オフィスや会議運営部門によるピンポイント営業およびフォローアップを行い、国際会議や学会、全国大会、企業系展示会等、誘致件数を伸ばした。</p> <p>▼ 全国で行われるIT系展示会を連続誘致した。</p> <p>▽ 主催者へのサービス提供業務</p> <p>▼ 館内情報コーナーには、札幌市観光情報やサービス、飲食店、市内他施設の情報量も充実させ、より多くの情報収集に努めた。</p> <p>▼ 札幌観光協会等と連携し、観光情報の提供を冊子やアプリなどツールを積極的に紹介した。</p> <p>▼ 主催者の利便性を高くするため、ワンストップサービスの提供を行った。 (各種手配業務のサポート、運営スタッフの手配等)</p>	<p>主催者・参加者から好評を得ているワンストップサービスやコンサルティングサービスについても、さらに利用者に周知し、利便性を高めていく。</p>																																	
<p>(5)施設利用に関する業務</p>	<p>▽ 利用件数等</p> <table border="1" data-bbox="379 824 979 1128"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>H28実績</th> <th>H29計画</th> <th>H29実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大ホール</td> <td>81.6</td> <td>80.0</td> <td>83.7</td> </tr> <tr> <td>中ホール</td> <td>74.5</td> <td>60.0</td> <td>72.9</td> </tr> <tr> <td>小ホール</td> <td>62.6</td> <td>60.0</td> <td>63.1</td> </tr> <tr> <td>特別会議場</td> <td>58.4</td> <td>60.0</td> <td>60.3</td> </tr> <tr> <td>会議室(15室)</td> <td>71.3</td> <td>60.0</td> <td>70.0</td> </tr> <tr> <td>来館人数</td> <td>412,766</td> <td></td> <td>415,518</td> </tr> </tbody> </table> <p>▽ 不承認0件、取消し0件、減免0件、還付0件</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <p>▼ 例年閉館していたゴールデンウィーク、夏季お盆期間も開館し自主事業を実施した。</p> <p>▼ 貸出備品の営繕業務を常に行い、利用者には不便さを感じさせないようにした。</p> <p>▼ 稼働率の低い特別会議場の利用促進に努めた。自主事業では長期開放し、特別会議場に訪れていた多く機会を増やした。また、会議以外での開催例として展覧会や映画会等を行った。</p>	名称	H28実績	H29計画	H29実績	大ホール	81.6	80.0	83.7	中ホール	74.5	60.0	72.9	小ホール	62.6	60.0	63.1	特別会議場	58.4	60.0	60.3	会議室(15室)	71.3	60.0	70.0	来館人数	412,766		415,518	<p>各会場とも目標稼働率を上回ることが出来た。前年に引き続き、一般催事の少ないゴールデンウィークやお盆期間に自主事業を開催し市民参加の機会を作るとともに、稼働率の維持に努めた。また冬季には新たな自主事業として、第1回しろいし展覧会を開催した。</p>	<table border="1" data-bbox="1241 788 1442 824"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>利用促進に対する取組によって、すべての会場で目標稼働率を上回ることができており、要求水準は達成されていると認められる。</p>	A	B	C	D
名称	H28実績	H29計画	H29実績																																
大ホール	81.6	80.0	83.7																																
中ホール	74.5	60.0	72.9																																
小ホール	62.6	60.0	63.1																																
特別会議場	58.4	60.0	60.3																																
会議室(15室)	71.3	60.0	70.0																																
来館人数	412,766		415,518																																
A	B	C	D																																
<p>(6)付随業務</p>	<p>▽ 広報業務</p> <p>▼ ホームページについてはウェブアクセシビリティに基づき一新し、「JIS X 8341-3:2016」に基づく試験を実施し、AA準拠を達成した。また公開可能な催事を随時更新し、また自主事業の開催情報などはホームページに加えブログやSNSにも掲載し、広報展開を行った。</p> <p>▼ 施設内に設置している情報コーナーやポスター掲示コーナーには、札幌市の施策にかかる情報を積極的に広報した。デジタルサイネージを活用し、情報表示も行った。</p>	<p>ホームページをリニューアルし、利便性向上に努めた。館内の広報発信としてデジタルサイネージを増やし、多くの情報を表示するとともに札幌市の施策にかかる事業も表示し、コンベンションセンターを発信拠点とした。</p>	<table border="1" data-bbox="1241 1482 1442 1518"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>ホームページのリニューアルによる利便性の向上やデジタルサイネージの増設などの取組に加え、館内で積極的に市の施策に関わる広報を行っている点が高く評価できる。</p>	A	B	C	D																												
A	B	C	D																																

- ▼ 札幌市シティプロモートの推進の一つである「SAPPOROパートナーズ」会員登録企業となっている。職員には「SAPPOROロゴバッジ」を着用させている。
- ▼ ラジオやTV CM等マスメディアと連携するタイアップ事業を通して、利用促進と連動し広く広報活動を行った。
- ▼ 前年度に続き、羽田空港への電飾看板の掲出するとともに、新たに東京メトロ有楽町駅にも電飾看板を掲出した。
- ▼ 札幌市が実施するプロモーション事業に利益還元を通して積極的に対応した。

札幌市観光・MICE推進課が主管の各種イベントにおいて、協賛金協力や広告の掲載等を行い、広報活動を行った。マスコミとの連携により、TV CMでイベント開催告知を繰り返す等の市民・道民への広報活動を行い、札幌コンベンションセンターの認知度アップにつなげた。

▽ 引継ぎ業務

(前回から継続指定のため、引継業務なし)

- 各種委員として活動した。
 - ・さっぽろ MICE 推進委員会
 - ・札幌市国際観光誘致事業実行委員会
 - ・札幌市国内観光プロモーション実行委員会
 - ・北海道MICE推進協議会
 - ・白石区ふるさと会(役員)

2 自主事業その他

▽ 自主事業

4月～5月	ピクサーアドベンチャー展 「もしも」から始まる、冒険の世界	共催
6月	MICEセミナー	主催
7月	SCCサマーフェスタwithパークジャズライブ	主催
8月	プラレール博 in SAPPORO	共催
9月	北の元気フェア 2017 障がい者作業所・授産施設支援物産展	主催
11月	MICE講座	主催
12月	こそだて★さっぽろ SORAこそだてフェスティバル2017 札幌市子ども未来局 子育て未来フェスタとの合同開催	主催
1月	SAPPORO子ども領事	共催
2月～3月	ウームシア@札幌コンベンションセンター 第1弾 懐かしのシネマウィーク 第2弾 子ども映画ウィーク&げんき広場 第3弾 しろいし展覧会 (白石区サークル活動者及び札幌東高校美術部作品の展示)	主催
3月	SORA懐かしのシネマ上映会Vol.7	主催

「SORAこそだてフェスティバル」は今年も札幌市子ども未来局と合同開催した。Sapporo City Jazzのパークジャズライブ会場として初めて参加するなど、札幌市のイベントとの連携を深めた。医学会と連携し、障がい者作業所・授産施設の物産展を開催。障がい者支援の一助となった。さらに今年度については、冬季間の自主事業として第1回しろいし展覧会を開催し、地元サークル活動者、札幌東高校との交流をはかった。

A	B	C	D
札幌の各部局や札幌市芸術文化財団等と連携し、コンベンションセンターの設置目的に寄与する取組を実施している。また、地元サークル活動者や札幌東高校と交流を図る等地域連携も行っており、自主事業としての取り組みに高い成果があったと言える。			

▼ 飲食物販

- レストラン事業を行った。

<p>▼その他手数料収入等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●弁当・ケータリングサービスを行った。 <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼第三者委託はおおむね市内企業に発注した。 ▼管理業務には、障がい者を雇用している。 ▼自主事業として障がい者支援の物産展を実施した。 		
---	--	--

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	施設内にアンケートボックスを設置するとともに、利用者及び来場者に対してアンケートを実施した。5段階の回答を数値換算して100点満点とし、各項目90点以上を目指した。(回答件数297件) また自主事業においても毎度アンケートを実施し、市民の声を次の企画の参考とするようにした。		
結果概要	①センターの総合的な印象について	93.1点	
	②スタッフの対応について	91.6点	
	③サービスの提供について	91.6点	
	④センターの清掃状態について	93.9点	
利用者からの意見・要望とその対応	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なタイプの会議室がある。設備が整っている。明るく爽やかな対応を頂いている。 ・丁寧で、利用者の要望を理解している。備品が整っている。明るくきれい。 ・清潔感がありキレイな印象。臨機応変に対応して頂いた。次回も利用させていただきます。 ・レイアウト図もわかり易く作成してくださいました。電話での説明も理解しやすかったです。 ・スタッフ内の伝達や施設のきれいさ、サービスも優良です。 		

目標回答件数を上回るとともに、全ての項目において要求水準を上回った。会場利用者の希望・要望を参考に施設管理を行い、昨年度よりも満足度を上げることが出来た。

A	B	C	D
目標回答件数150件に対して、約2倍に相当する件数のアンケートを実施するとともに、全ての項目において要求水準を大きく上回り、利用者の満足度向上に向けた取り組みに高い成果があったと認められる。			

4 収支状況

▽ 収支

(千円)			
項目	H29計画	H29決算	差(決算-計画)
収入	553,500	554,148	648
指定管理業務収入	526,300	521,443	▲ 4,857
指定管理費	0	0	0
利用料金	301,300	301,582	282
その他	225,000	219,861	▲ 5,139
自主事業収入	27,200	32,705	5,505
支出	433,430	438,905	5,475
指定管理業務支出	408,782	409,710	928
自主事業支出	24,648	29,195	4,547
収入-支出	120,070	115,243	▲ 4,827
利益還元	100,000	100,000	0
法人税等	16,336	14,203	▲ 2,133
純利益	3,734	1,040	▲ 2,694

収入は計画を上回った。支出が計画を上回ったのは自主事業収入の経費増による。

A	B	C	D
支出は計画を上回っているものの、収入が支出を上回っており、収支状況としては問題はない。			

▽ 説明

▼利益還元について

札幌コンベンションセンターの管理に関する協定書第17条に定める利用料金の納付等に基づく利益還元該当

<確認項目> ※評価項目ではありません。			
▽ 安定経営能力の維持 ▼ 選定時と同様、安定経営能力を維持している。		適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ▼ 利用申込者に渡す利用案内に暴力団排除の文言を入れている。 ▼ 各条例の規定に則り、全て適切に対応した。		適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
誘致活動については札幌コンベンションビューローとの連携をさらに強化しながら積極的な活動をし、国際会議誘致に成功した。また各種団体とのネットワーク構築・連携強化を行いながら事業展開も行った。 自主事業においては、札幌市のイベントとの連携を深め、札幌市施策と連動するような企画を多く実施し、札幌コンベンションセンターの認知度を広くアピールした。また利便性を向上させるべく各種取り組みを行った。	国際会議誘致においてこれまで同様各関係機関と連携を取り活動を積極的に行い、誘致成功件数アップに努めたい。 自主事業においても、地域連携を図りながら企画・実施するとともに、札幌市の政策の一助となるべく、総合的な情報発信の拠点として事業展開を継続して行いたい。
【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
全体的に目標水準を達成しており、誘致活動や省エネ等、札幌市の政策実現や課題解決に向けた取り組みを積極的に展開し、ホームページのリニューアル等施設の効用を高める取り組みを実施していたことは大変評価している。	引き続き、目標稼働率の達成に向けて、積極的な誘致活動を実施するとともに、本市が所有する唯一のコンベンション施設として、特に市外からのコンベンション等の開催の実現に向けた取組の強化を図っていただきたい。 また、施設の保全や利用者満足度の向上についても、さらなる自主的な施設運営を行うことに期待したい。